

「東シナ海南部」で2021年10月の海面水温が 10月として最も高い値を記録

沖縄周辺海域のうち「東シナ海南部」では、2021年10月の月平均海面水温が27.5℃（速報値）となり、解析値のある1982年以降、10月としては最も高い水温となりました。

1. 「東シナ海南部」の2021年10月の月平均海面水温

「東シナ海南部」（別紙図1）の海域では、速報値による2021年10月の月平均海面水温が27.5℃（平年差+1.4℃）となり、先月に続き、解析値のある1982年以降、10月としては最も高い水温を記録しました（別紙図2及び表）。

2. 海面水温が高くなった要因

沖縄周辺海域の「東シナ海南部」、「沖縄の東」及び「沖縄の南」では、先月（2021年9月）の月平均海面水温が9月としては最も高くなりました。このうち「東シナ海南部」では10月も引き続き、高気圧に覆われて晴れの日が多く、平年より風が弱く、暖かく湿った空気の影響も重なり、海面水温が平年よりかなり高くなりました。10月後半以降、寒気の影響により、海面水温が低下したものの、平年より高い状態が続きました。

なお、今回の記録と地球温暖化との関係については、評価海域が狭く年々の変動も大きいことから、これまでと同様に温暖化の影響を評価できる状況ではありません。

3. 今後の見通し

向こう1か月の「東シナ海南部」の海面水温は、平年並か平年より高いでしょう。海面水温の最新の状況と詳しい見通しは、気象庁ホームページの「海洋の健康診断表 海面水温・海流（沖縄周辺海域）」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f_6/jun_OK/kaiyo_OK.html

問合せ先：沖縄気象台 地球環境・海洋課 担当 本山・藤本
電話：098-833-4065

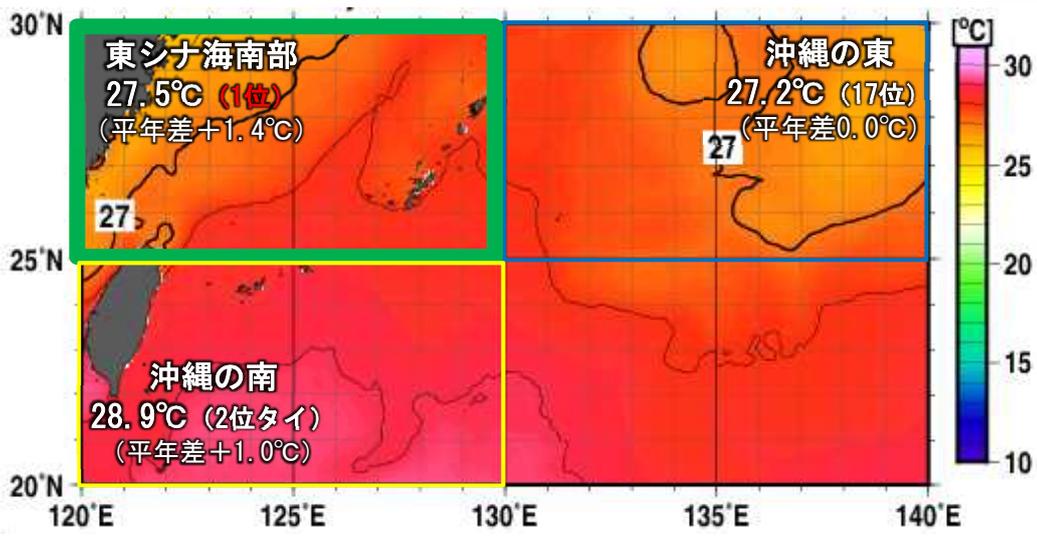


図1：沖縄周辺海域の月平均海面水温分布図(2021年10月)(速報値)

人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された2021年10月の月平均海面水温の分布(凡例は右側)。緑枠(左上)が10月の1位となった「東シナ海南部」。青枠(右上)は「沖繩の東」、黄枠(左下)は「沖繩の南」の各海域に対応。

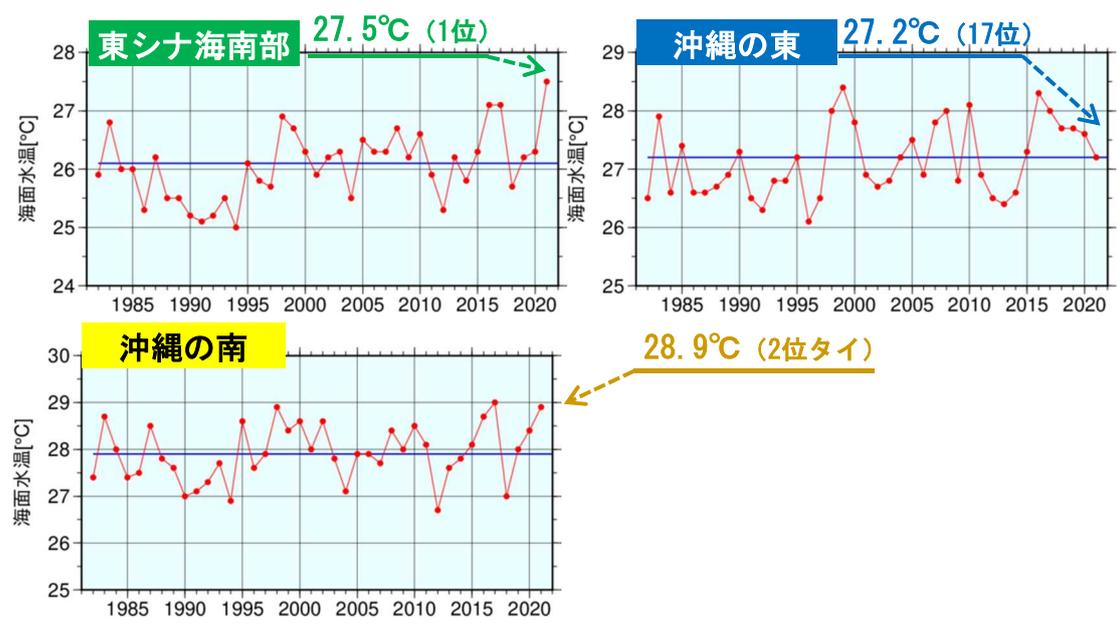


図2：10月の沖縄周辺海域での月平均海面水温の経年変化

青線は平年値(統計期間：1991年～2020年)。2021年の値は速報値(下の表も同じ)。

表：沖縄周辺海域で10月の月平均海面水温が高かった年(上位順)

東シナ海南部			沖繩の東			沖繩の南		
年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)
2021	27.5	+1.4	1999	28.4	+1.2	2017	29.0	+1.1
2017	27.1	+1.0	2016	28.3	+1.1	2021	28.9	+1.0
2016	27.1	+1.0	2010	28.1	+0.9	1998	28.9	+1.0